



金山町
堂平遺跡



三島町
稻荷原遺跡

奥会津文化施設間連携企画展

奥会津の縄文

2023 7/22^土 奥会津の7会場で
同時スタート



三島町
佐渡畑遺跡



檜枝岐村
下ノ原遺跡



柳津町
石生前遺跡

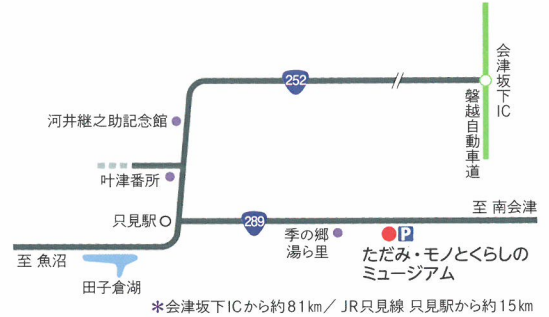
- 只見町** ただみ・モノとくらしのミュージアム
会期：7月22日^土—11月12日^日
- 檜枝岐村** 檜枝岐村歴史民俗資料館
会期：7月22日^土—11月5日^日
- 南会津町** 奥会津博物館
会期：7月22日^土—11月26日^日
- 柳津町** やないづ縄文館
土器とくらしのミュージアム
会期：7月22日^土—11月12日^日
- 三島町** 三島町交流センター 山びこ
会期：7月22日^土—10月1日^日
- 金山町** 金山町歴史民俗資料館
(道の駅奥会津かねやま内)
会期：7月22日^土—11月12日^日
- 昭和村** からむし工芸博物館
会期：7月22日^土—11月12日^日

只見町 ただみ・モノとくらしのミュージアム



1. 土器片 (七十苧遺跡) 2. 土偶 (館ノ川遺跡) 3. 深鉢形土器 (小川上野遺跡) 4. 石製垂飾具 (4~6は窪田遺跡) 5. 土版 6. 土偶

只見町における縄文時代の遺跡は、31か所が確認されています。そのほとんどは縄文中期から晩期にかけての遺跡です。代表的な遺跡は、岩下遺跡(二軒在家)、外出遺跡(小林)、七十苧遺跡(小林)、窪田遺跡(大倉)、小川上野遺跡(小川)、館ノ川遺跡(楡戸)などがあげられます(かっこ内は大字名)。「奥会津の縄文」展が開かれる「ただみ・モノとくらしのミュージアム」の遺跡ひろばは、福島県指定史跡の窪田遺跡です。また、縄文の復元住居もご覧いただけます。「奥会津の縄文」展では、窪田遺跡から土偶、土錘・石錘、耳飾り、土版など、また館ノ川遺跡の土偶、小川上野遺跡・岩下遺跡の深鉢形土器など、只見町を代表する出土品を紹介します。



- 施設概要 / 「ただみ・モノとくらしのミュージアム」は、国重要有形民俗文化財に指定された民具を見学できる「民具収蔵庫」、民具を体験できる「みんぐふれあいホール」、年間2~3回の企画展・テーマ展を行う「展示ホール」などを備えた博物館で、何度も訪れて只見町の文化遺産を学べます。「奥会津の縄文」展会期中は、10月9日まで第2回企画展「生誕百年 皆川雅舟展 只見が生んだ渾朴の書人」を開催中です。
- 開館時間 / 9:30~17:00 ※入館は16:30まで
- 休館日 / 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日)
- 入館料 / 無料
- 駐車場 / 普通車20台
- 住所 / 〒968-0602 南会津郡只見町大字大倉字窪田30
- 問い合わせ / TEL. 0241-86-2175

檜枝岐村 檜枝岐村歴史民俗資料館



1. 深鉢形土器 (1~6全て下ノ原遺跡) 2~3. 南三十稻場式土器

4. 人面付口縁部 5・6. 三十稻場式土器

檜枝岐村の縄文遺跡は、標高900~1000m台の高地に位置することが特徴です。現在までに7か所の遺跡が確認されており、役場周辺にある下ノ原遺跡がその代表です。下ノ原遺跡は河川最上流部では比較的規模の大きな遺跡として知られ、縄文後期の敷石遺構、土器・土偶、石鏃・凹石などの石器が発見されています。写真の深鉢形土器は下ノ原遺跡から出土したもので、檜枝岐村では復元された唯一のものです。また、口縁部に人面意匠を施した深鉢形土器や、大型のハート形土偶(表紙参照)などは貴重な出土品です。燧岳北麓のブナ平の遺跡や只見川上流部に位置する小沢平遺跡は、新潟県魚沼地方とつながるルートの存在を推定させ興味深い遺跡です。檜枝岐村の出土品の多くは未発表であり、この「奥会津の縄文」展が初公開となります。

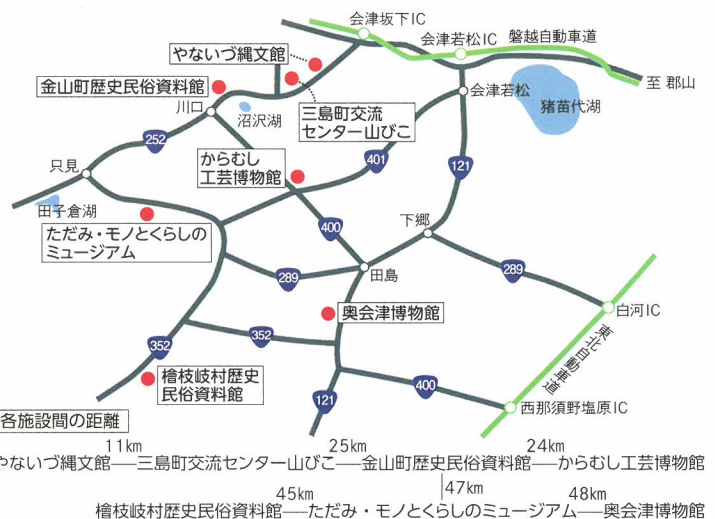


- 施設概要 / 檜枝岐村歴史民俗資料館では、伝統芸能「檜枝岐歌舞伎」の衣装などをはじめとした貴重な資料から、村の歴史を紹介した資料および全て村民から寄贈された生活用具などが展示されています。その他、檜枝岐村の林産用具、漁具などが展示され、先人たちの暮らしの知恵を偲ぶことができます。
- 開館時間 / 9:00~15:00
- 休館日 / 毎週木曜日
- 入館料 / 無料
- 駐車場 / 普通車20台
- 住所 / 〒967-0525 南会津郡檜枝岐村字下ノ原887-1
- 問い合わせ / TEL. 0241-75-2342 (檜枝岐村教育委員会)

奥会津地域（只見町、檜枝岐村、南会津町、柳津町、三島町、金山町、昭和村）は、豊かな森や山々、只見川や伊南川が織りなす景観のもと、古くは縄文時代より伝統文化や技術を継承している日本でも数少ない地域です。本企画展は、奥会津地域の7町村の文化施設が連携し、土器や石器といった縄文時代の生活用具を多数展示し、奥会津の縄文文化を紹介するものです。自然・人・文化からなる「いとなみ」を価値ある「歳時記の郷」として捉え、自然の中での営みの豊かさを伝える貴重な展示となっております。



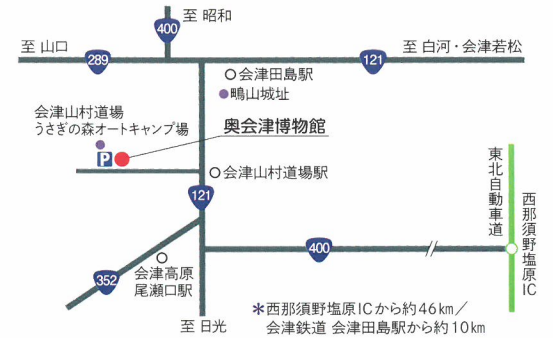
「縄文の記憶」を色濃く残す奥会津へ



南会津町 奥会津博物館



南会津町（伊南・館岩・南郷・田島の各地域）の縄文遺跡の総数は95か所を数えます。その多くが阿賀川、伊南川、館岩川の河川に沿うように立地しています。その中でも数少ない縄文草創期の遺跡が馬乗りばんば遺跡・高清水遺跡で、奥会津最古の爪形文土器が出土しています。縄文早期の石橋遺跡からは押型文土器、奥会津を代表する縄文中期の寺前遺跡・上ノ台遺跡、そして縄文中期・晩期の村下遺跡からは多くの土器等が出土しています。写真の寺前遺跡の土器は、新潟の火焰型土器と東北の大木式土器が折衷した会津独特の火炎系土器です。村下遺跡出土の土版は、儀礼や祈りのために用いられたと考えられています。「奥会津の縄文」展では、これらの縄文草創期から晩期にわたる出土品を一堂に紹介し、南会津町の縄文遺跡の特色をくまなく表す内容となっております。



- 施設概要 / 5,058点の国重要有形民俗文化財を含む約24,000点の民具を収蔵。失われつつある奥会津の伝統文化を保存・伝承することを主たる目的とし、郷土の歴史・民俗資料などを収集、公開しています。人々の学習の場であり、歴史・民俗学の研究機関でもあります。敷地内に民家（馬宿・染屋・旧猪股家住宅・旧山王茶屋）を移築しています。
- 開館時間 / 9:00～16:00 ■休館日 / 無
- 入館料 / 小・中学生: 100円 (50円)、高校生: 200円 (150円)、大人: 300円 (250円) * ()内は団体割引
- 駐車場 / 普通車20台
- 住所 / 〒967-0014 南会津郡南会津町糸沢字西沢山3692-20
- 問い合わせ / TEL. 0241-66-3077

柳津町

やないづ縄文館 土器とくらしのミュージアム



1. 火炎系土器 (1~4は石生前遺跡)

2. 土偶
3. 人面付きの深鉢形土器

4. 突起状把手
5. 人体像把手付土器 (池ノ尻遺跡)

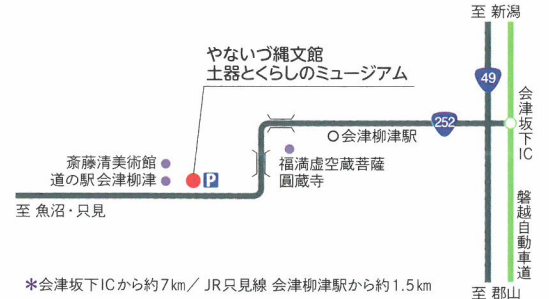
3

2

4

5

柳津町には13か所の縄文遺跡が知られています。その代表が石生前遺跡（縄文中期・後期）です。1988年など数回にわたる発掘調査で40棟を超す竪穴住居跡が発見されたほか、大量の土器・石器・土偶などが出土した集落跡です。主な出土品が福島県指定重要文化財となっています。展示品としては石生前遺跡からの出土品が大半を占め、発掘された竪穴住居跡の復元住居、池ノ尻遺跡から出土した人体像把手付土器（現在、奈良市にて修復作業中）の3D画像と関連遺物、そして塩野半在家遺跡・砂子原居平遺跡から出土した遺物（縄文晩期）があります。また、遺物整理の状況を、そのままの姿で見学できるコーナーもあります。



- 施設概要 / やないづ縄文館には、柳津町石生前遺跡などで発掘された土器・石器・土偶や復元住居などが展示されています。土器は縄文中期～後期そして晩期のもので、中でも新潟などの交流を物語る中期中頃の火炎系土器（かえんけいどき）などが特徴的です。また復元された竪穴住居の中には、縄文人の暮らしの様子が再現されています。
- 開館時間 / 9:00～16:00
- 休館日 / 無休（冬季は第2・4木曜日休館）
- 入館料 / 無料
- 駐車場 / 普通車150台、大型可
- 住所 / 〒969-7201 河沼郡柳津町大字柳津字下平乙151（ほとinやないづ1階）
- 問い合わせ / TEL. 0241-42-3511（柳津町中央公民館）

三島町

三島町交流センター 山びこ



1. 編み籠 (1~2は荒屋敷遺跡)

2. 石鏃

3. 深鉢形土器 (3~4は稲荷原遺跡)

4. 土偶頭部

5. 磨製石斧 (アオトラ石製) (大石田居平遺跡)

6. 土笛 (中際遺跡)

三島町の縄文遺跡は19か所が確認されています。そのうち試掘を含め発掘調査が実施された遺跡は8か所、約5500年前に噴火した沼沢火山起源の堆積物のため、縄文中期以降の遺跡が発見されています。荒屋敷遺跡（縄文晩期）は、低湿地帯にあったことで、遺存しにくい有機質の遺物が多く出土し、主要なものが国の重要文化財に指定されています。展示内容は、荒屋敷遺跡の石製の鏃や斧、刃物といった石器・石製品、ならびに漆塗土偶、漆塗竪櫛、縄、編み籠の複製品、出土した編み組技法を用い再現した編み籠の復元品をはじめ、発掘調査が実施された入間方、佐渡畑、銭森、中際、稲荷原、大石田居平、小和瀬の7遺跡（縄文中期～晩期）の土器・土製品、石器・石製品です。



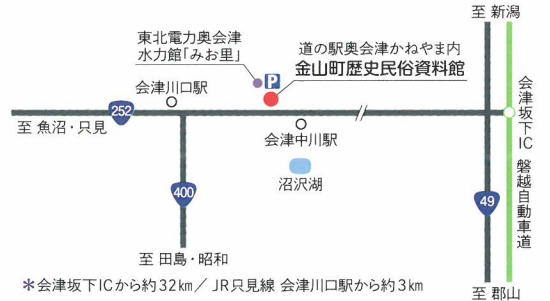
- 施設概要 / 三島町交流センターでは、歴史文化や芸術文化に関する各種企画展・イベントを主に開催しています。地域内外の交流や地域の活性化を目的とした施設で、ギャラリーホール、イベントホール、和室等を備えた複合施設です。イベントや企画展の情報は当館までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください（<http://www.yuruibata.jp/>）。
- 開館時間 / 9:00～17:00 ※入館は16:30まで
- 休館日 / 毎週月曜日（祝日・振替休日の場合は翌平日）
- 入館料 / 無料
- 駐車場 / 普通車60台
- 住所 / 〒969-7402 大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上418
- 問い合わせ / TEL. 0241-52-2165

金山町 金山町歴史民俗資料館



1. 深鉢形土器
(1~2は寺岡遺跡)
2. 深鉢形土器片
3. 深鉢形土器
(石神平遺跡)
4. 土器片
(4~5は堂平遺跡)
5. 土器片

金山町は、2022年に発掘調査が行われた中西部遺跡を含め19か所の縄文遺跡が確認されています。発掘調査が行われた遺跡は、寺岡遺跡(本名)、上中井遺跡(玉梨)、石神平遺跡(中川)、宮崎遺跡(中川)、黒岩洞窟(水沼)、中西部遺跡(大塩)です(かっこ内は大字名)。「奥会津の縄文」展では、寺岡遺跡、堂平遺跡、石神平遺跡の出土品(縄文中期~後期)が展示されます。寺岡遺跡出土の土器は、東関東の阿玉台式土器、東北南部の大木式そして北陸の火焰型(馬高式)それぞれの影響を受けて生まれた、会津の在り地型と言える独特のもので、獣面・人面を思わせる土器の突起が特徴です(表紙参照)。写真の大型の火焰型土器は石神平遺跡出土です。



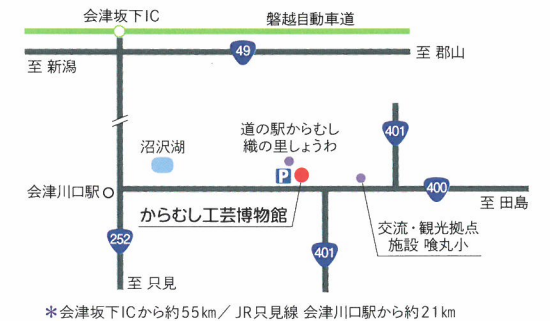
- 施設概要/金山町歴史民俗資料館は、道の駅奥会津かねやま内にあり、縄文土器や、当地の宮崎遺跡から出土した弥生時代における再葬墓に使われた土器などを展示しています。同一敷地内には、福島県指定重要文化財であり、雪国特有の茅葺き平屋造りが特徴の「旧五十島家住宅」が移設されており、当時の暮らしに欠くことのできない様々な生活用品や道具が展示されています。
- 開館時間/ 9:00 ~ 17:30
- 休館日/ 無 (12/30 ~ 1/2は休業)
- 入館料/ 無料
- 駐車場/ 普通車46台・大型6台・身障者用2台
- 住所/ 〒968-0006 大沼郡金山町大字中川字上居平949-8
- 問い合わせ/ TEL. 0241-54-5360 (金山町教育委員会)

昭和村 からむし工芸博物館



- 1~3. 土器片
(小峠遺跡)
- 4~5. 土器片
(矢ノ原B遺跡)
- 6~7. 土器片
(畑小屋遺跡)
- 8~9. 頁岩剥片 (大向遺跡)
10. ハート形の縄文土器把手
(10・11は和久平遺跡)
11. 深鉢形土器

昭和村で確認された遺跡は26を数え、他地域に比べ早期・前期の遺跡が多く確認されています。小野川の峠遺跡からは、縄文早期の会津地方に特徴的な常世式土器、押型文土器が出土しています。大芦には7遺跡があり、中坪A遺跡は2018年に発掘調査が行われました。また、矢ノ原湿原の周囲には早期から後期にかけてに数か所の遺跡があり、田戸下層式、南原式、常世式、茅山下層式の土器などが出土しています。野尻の和久平遺跡からは発掘調査により複式炉、埋葬遺構が確認されています。「奥会津の縄文」展では、近年に発掘された遺跡を含め、初めて公開するという出土品を多数集めて展示いたします。



- 施設概要/ 縄文の時代から人々に利用されてきた植物繊維「からむし」「麻」の栽培に関する歴史資料や生産道具、様々な織物などを展示説明しているほか、ビデオ・ライブラリーコーナーも併設しています。館外には、世界各地のからむしを集めて栽培している「世界の芋麻園(ちょまえん)」があり、自由に観察することができます。
- 開館時間/ 9:00 ~ 17:00 ※入館は16:30まで
- 休館日/ 10月13日(金)
- 入館料/ 無料 ※展示室は観覧料が必要です。
- 駐車場/ 普通車40台・大型車5台
- 住所/ 〒968-0215 大沼郡昭和村大字佐倉字上ノ原1
- 問い合わせ/ TEL. 0241-58-1677

講演会① 奥会津の縄文と繊維植物を考える

田本氏からは、台湾原住民族のからむし織り生産販売の現状を踏まえ、手仕事の現在と未来について講演いただきます。東村氏からは、古代の織りに関する最新の研究成果報告や、植物繊維利用と布織り具の変遷について講演いただきます。

2023年7月29日(土) 13:30~16:30(予定)

先着30名
事前申し込み不要

昭和村公民館 2F研修室

〒968-0103 大沼郡昭和村大字下中津川字住吉415

講師：田本はる菜氏

成城大学文芸学部専任講師。主に先住民族の在来技術や手工芸開発を研究テーマとする。

東村純子氏

福井大学准教授。紡織の考古学を研究テーマとし、古代日本の織物の生産における女性の働き等を研究。

講演会② 奥会津の縄文文化

本連携企画展「奥会津の縄文」開催における意義や、各館の展示や見どころを紹介しします。また、奥会津の縄文土器などから分かる他地域との交流の可能性などについても講演いただきます。

2023年7月30日(日) 13:30~14:30(予定)

先着100名
事前申し込み不要

やないづふれあい館 1F多目的ホール

〒969-7201 河沼郡柳津町柳津下平乙242-2

講師：長島雄一氏

日本考古学協会。柳津町文化財整理指導員。福島県教育庁文化課や会津若松市教育委員会などで県内の遺跡発掘調査に従事。

講演会④ 奥会津の縄文時代の植物利用を考える

三島町荒屋敷遺跡の出土品など、奥会津における縄文時代の植物関連資料からみる、植物利用やその意味について講演いただきます。

2023年9月9日(土) 13:30~16:00(予定)

先着50名
事前申し込み不要

奥会津博物館 山王茶屋

〒967-0014 南会津郡南会津町糸沢西沢山3692-20

講師：渡部康人氏

奥会津博物館文化財専門員。藍染文化の継承や普及に従事するほか、会津歌舞伎の歴史を紐解く本など多数手がける。

佐々木由香氏

金沢大学古代文明・文化資源学研究所特任准教授。植物利用からみる縄文文化の多様性など人間と植物の関係史を研究。

赤坂憲雄氏

学習院大学教授。奥会津ミュージアム館長。民俗学者。東北学を提唱し、東北の文化風土を探究。

講演会③ 沼沢火山と奥会津の縄文

約5500年前に起こった沼沢火山の噴火によって死滅したとされていた埋もれ木の現地見学会を行うほか、沼沢火山の噴火による奥会津の縄文時代の影響について講演いただきます。

2023年8月11日(金) 13:00~16:00(予定)

先着50名
事前申し込み制

第1部 埋もれ木現地見学会(三島町大谷地区)

協力：佐久間建設工業株式会社

*定員に達し次第、締め切らせていただきます。

第2部 講演会(15:00~)

三島町町民センター 1階大ホール

〒969-7511 大沼郡三島町大字宮下字宮下350

*埋もれ木現地見学会に参加される方は、13:00に三島町町民センター発着の送迎バスを運行しますので、ご乗車ください。

講師：三浦武司氏

公益財団法人福島県文化振興財団遺跡調査部、専門文化財主査。前田遺跡(川俣町)の発掘調査を担当したほか、縄文時代の遺跡の発掘調査に数多く携わる。

ミニ展示 斎藤清が描いた縄文

事前申し込み不要

斎藤清が描いた埴輪・土器・土偶などの作品を展示します。

2023年10月7日(土)~11月12日(日) 9:00~16:30(月曜休館)

やないづ町立斎藤清美術館 ライブラリーコーナー

〒969-7201 福島県河沼郡柳津町柳津下平乙187

*その他企画展示をご覧になりたい方は、別途入館料が必要です。

●事前申し込みが必要な関連イベントについては、下記お問い合わせ事務局へ、電話もしくはメールにて参加申し込みを行ってください。申し込みがお済みでない方は参加できませんのであらかじめご了承ください。また、今後も新規の関連イベントを更新予定ですので、下記URLをご確認ください。

URL : <https://okuaizu.net/news/>



バックヤードツアー やないづ縄文館の収蔵庫

普段見ることのできない土器収蔵庫を見学できる貴重なツアーです。指導員によるガイドもご紹介します。

各回先着10名
事前申し込み制

2023年8月6日(日)・8月20日(日)・9月10日(日)・

9月24日(日)・10月7日(土)・10月22日(土)・11月5日(日) 計7日間

各開催日も 午前の部 10:00~11:30 / 午後の部 13:30~15:00

やないづ縄文館 土器とくらしのミュージアム

〒969-7201 河沼郡柳津町大字柳津字下平乙151 (ほっとinやないづ1階)

ガイド：長島雄一氏

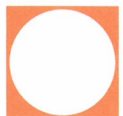
日本考古学協会。柳津町文化財整理指導員。福島県教育庁文化課や会津若松市教育委員会などで県内の遺跡発掘調査に従事。

スタンプラリーのご案内

「奥会津の縄文」開催の7会場すべてをご覧くださった方に、抽選で奥会津ならではのプレゼントをお贈りいたします(数量限定です)。7番目に訪れた会場にて押印済みのこのパンフレットをご提示いただき、所定の申込書に必要事項を記載の上、お申込みください。



ただみ・モノとくらしのミュージアム/只見町



檜枝岐村歴史民俗資料館/檜枝岐村



奥会津博物館/南会津町



やないづ縄文館/柳津町



三島町交流センター山びこ/三島町



金山町歴史民俗資料館/金山町



からむし工芸博物館/昭和村



スタンプを押してね!

主催：只見川電源流域振興協議会

共催：只見町・檜枝岐村・南会津町・柳津町・三島町・金山町・昭和村

後援：福島民報社・福島民友新聞社・株式会社ラジオ福島・株式会社エフエム福島・株式会社エフエム会津・福島テレビ・福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島・NHK 福島放送局・河北新報社

協力：福島県立博物館・福島県教育庁文化財課・公益財団法人福島県文化振興財団・佐久間建設工業株式会社

お問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

〒968-0006 福島県大沼郡金山町大字中川字上居平933(東北電力奥会津水力館 みお里内)

TEL.0241-42-7125, FAX.0241-42-7127

E-mail: tdrsk@okuaizu.net

<https://okuaizu.net/>

*このパンフレットは、電源立地地域対策交付金により作成されています。

